

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【会津若松市立第四中学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	第3学年 193名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	○オリンピック開催前に、オリンピックに臨む選手やボランティアの働きについて学ぶ。 ○オリンピックを招き、オリンピックの意義やオリンピックから学んだこととお聞きし、理解を深めさせる。
5 取組内容	 ○パラリンピックトーチの展示 生徒昇降口にトーチを展示し、オリンピックパラリンピックへの関心を高めた。 ○「山内大夢」さんの講演会の前に、山内大夢さんについての調べ学習を行い、質問事項を考えた。 ○山内大夢さんの講演会の後に、感想を生徒が書いた。
6 主な成果	○ボランティアの仕事について学ぶことで東京オリンピックに

	についての関心を高めるとともに、ボランティア活動についての関心を高めた。 ○オリンピックの話を聞くことで目標実現のために必要なこと、生徒一人一人が悩みを抱えるなかで、どのように解決を図るかなどの話をいただき、生徒にとって大きなアドバイスとなった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○オリンピックの選定については、生徒に年代の近い、地元の方を選定した。身近な中学校や高校での様子を聞けて良かった。 ○新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインでの講演会を実施した。
8 主な課題等	○オリンピックの選定については、なかなか時間がかかり、大変であった。依頼がオリンピック前に行ったが、競技優先であったため、決定まで時間がかかった。 ○コロナ流行下での実施ということで、対面での実施が難しかった。
9 来年度以降の実施予定	○オリンピックについての校舎内での掲示を継続していきたい。